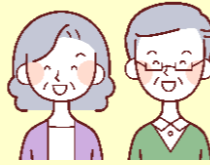


2024年度 第1回 援助会員養成講座のご案内

会場：松阪公民館 講座室1・講座室2
 対象：松阪市及び近隣市町に在住または、松阪市内に通勤通学する20歳以上の方
 募集人数：30名(先着順)
 受講料：無料(但しテキスト代2,200円が必要となります)
 託児：無料 必要な方は、講座開催日の一週間前までにお申込みください。



月日	会場	時間	内容	講師(敬称略)
2024年 6月6日(木)	講座室2	9:50~10:00	オリエンテーション	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
		10:00~11:30	①保育サポーターの役割と心得	(特)松阪子どもNPOセンター 理事長 塩谷明美
		11:40~12:25	②松阪市の子育て支援サービスの現状	松阪市こども家庭センター 子育て応援係長 山岡 恵
		13:20~16:20	③保育の心と子どもの遊び	ユマニテク短期大学 幼児保育学科 特任教授 山野栄子
6月9日(日)	講座室1	9:45~12:45	④子どもの栄養と食生活	管理栄養士(元大学教授) 馬場啓子
		13:45~16:45	⑤心の発達と障がいについて	高田短期大学 子ども学科 助教 伊藤拓也
6月14日(金)	講座室1	10:30~12:00	⑥子どもの生活へのケアと援助	松阪市こども家庭センター母子保健係 保健師 山鹿悠月
		13:00~16:00	⑦小児看護の基礎知識	三重県立看護大学 小児看護学 教授 宮崎つた子
6月20日(木)	講座室2	13:30~14:00	⑧事業を円滑にすすめるために	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
		14:15~16:15	⑨身体の発育と病気	医療法人大久保クリニック 院長 大久保俊樹
6月26日(水)	講座室2	9:45~11:45	⑩児童虐待と社会的養護	三重県市町児童相談アドバイザー 鈴木 聡
		12:30~15:30	⑪子どもの事故と安全・心肺蘇生法	日本赤十字社三重県支部 青木恵津子
		15:40~17:00	⑫講座を振り返って	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー

ほっとタイム

あなたの子育て応援します!
ファミサポ通信
 2024 6月号 Vol.42
 発行元：まつさかファミリーサポートセンター

両親とも仕事で遅くなる時に、5,1,0歳の子の保育園へのお迎えとその後の託児、夕食をお願いしています。「誰かが助けてくれるサポート体制がある」というのは、本当に心強く、以前、下の子の急病で病院受診のために上の子のお迎えに行けなくなった時、急遽お願いしたにも関わらず、センターの方も援助会員の方も上の子のことは心配しないでね、と快く長時間のサポートを引き受けてくださった時には、本当にありがたかったです。援助会員さんは皆さまとても優しく温かな方ばかりで、お迎えの時に私にも優しい声をかけてくださいます。子どもたちも援助会員さんのお家に行くのを毎回とても楽しみにしていて、帰宅してからも、援助会員さんとの出来事を嬉しそうに話してくれるのをみるとホッとします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 依頼会員 N.Y

「わんちゃん、いるかなあ? ワンワン、鳴くかなあ?」と言いながら、玄関を開けるのが毎回の恒例で、Jaちゃんは我が家に帰ってきます。着いたらまず、ひとしきり我が家のわんちゃんと戯れ、ようやく落ち着きます。夕食時なので、私が用意をしている時は、レゴで遊んだり、お絵かきをしたりして待っててくれます。食事時も「うちでは・・・」「園では・・・」とても饒舌で、パクパク食べてくれます。お迎えの時、お母さんに聞くと「食べるのにムラがあり、いつももっと食べてほしいんです」と仰っているので、「うちでは結構食通り良いですよ」と伝えるとびっくり&喜んでみえます。毎回、お仕事大変なお母さんの少しでもお助けになればとの思いでお預かりしています。 援助会員 Y.S

まつさかファミリーサポートセンター
 アドバイザーが援助をコーディネートします

①援助の申し込み
 ②援助の申し込み
 ③援助の打診
 ④援助の承諾

あなたの子育て応援します!

援助できる内容
 保育園、小学校、学童保育、習い事等の送迎/保育園等の開始前や終了後の預かり/保護者のリフレッシュの際の預かり/保護者の病気や外出の際の預かり/軽い病児、病後児の預かり等

依頼会員

⑤援助活動
 ⑥報酬の支払い

松阪市及び、近隣市町に在住または、松阪市内に通勤通学するお母さん4ヵ月~小学6年生のお子様をお持ちの方

※依頼会員と援助会員は兼ねることができます(両方会員)

援助会員

松阪市及び、近隣市町に在住または、松阪市内に通勤通学する20歳以上の方で講習会を受け登録された方

利用するには...

①入会申込書に必要事項を記入し、登録をしてください。(登録料は無料です)
 ②依頼会員とその条件に合う援助会員(2~3名)がお子さんを交え事前に顔合わせをします。
 ※①②を済ませておけば、依頼することができ、いざという時にも安心です。
 ※援助活動中の方が一事故に備え、補償保険に加入しています。

まつさかファミリーサポートセンター
 〒515-0078
 三重県松阪市春日町二丁目1番地 ルミエールKASUGA
 特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター内
TEL/FAX 0598-20-8246
 mail: mfsc@mknpj.jp HP: http://www.mknpj.jp/mfsc/
 開所時間 月~金/8:30~19:00(土日祝日・年末年始は休み)

詳しくはここへアクセス!



6か月になるJiちゃんを初めてお預かりした頃、前向きに抱っこしているとJiちゃんが私の手をマジマジと見ながら、表向けたり、裏向けたりして、お母さんの手と何だかいつも違うなあと思っていました。同じ街で育ったお子様の暮らしの、ほんの一角を一緒に過ごさせていただくのを、とても嬉しく感じています。 援助会員 T.M

抱っこが大好きなJi君。おっきなお目をクリクリさせて好奇心旺盛です。ボールをコロコロさせたり手遊び歌で遊んだり、離乳食もモリモリ食べてくれました。夜のお預かりなので、疲れてウトウトしてしまうことも…。お母さんが来てくれるとニコニコの笑顔で愛を感じて嬉しかったですね。これからの成長が楽しみです。 援助会員 N.S

学校から学童への送迎にファミリーサポートを利用させていただきました。急な学級閉鎖や私的な理由のキャンセルでご迷惑をおかけした事もありましたが、その都度対応をいただきとてもありがたかったです。道中、楽しくおしゃべりしたり、学校の疲れと心地よい車の揺れでウトウト寝てしまったり、タブレット学習の宿題をしたり…。援助会員さまが息子のその時々の様子に合わせてくださっていたので、息子も皆さまが大好きなようで、安心してお任せできました。長い間、お世話になりました。ありがとうございました。 依頼会員 N.T

少し長い距離のある送迎で援助してしましたが、普段は宿題をしたり、休憩のお昼寝をしたり、学校の話や趣味の話をしていました!送り届けたときに自然と、ありがとうございます!と言ってくれる一言にいつも感心していました。中学校でも文武両道で、頑張ってください。応援しています。ありがとうございました。 援助会員 F.A

小学校卒業、そして中学校入学おめでとうございます。月に数回の援助でしたので、もしかしたら他の援助会員さんに、もう何回も同じことを聞かれているかもしれないと思いつつ聞くと、いつも丁寧に受け答えしてくれました。将来活躍されてインタビューなどに答える姿で出会えることを楽しみにしています。これからも頑張ってください。 援助会員 A.H

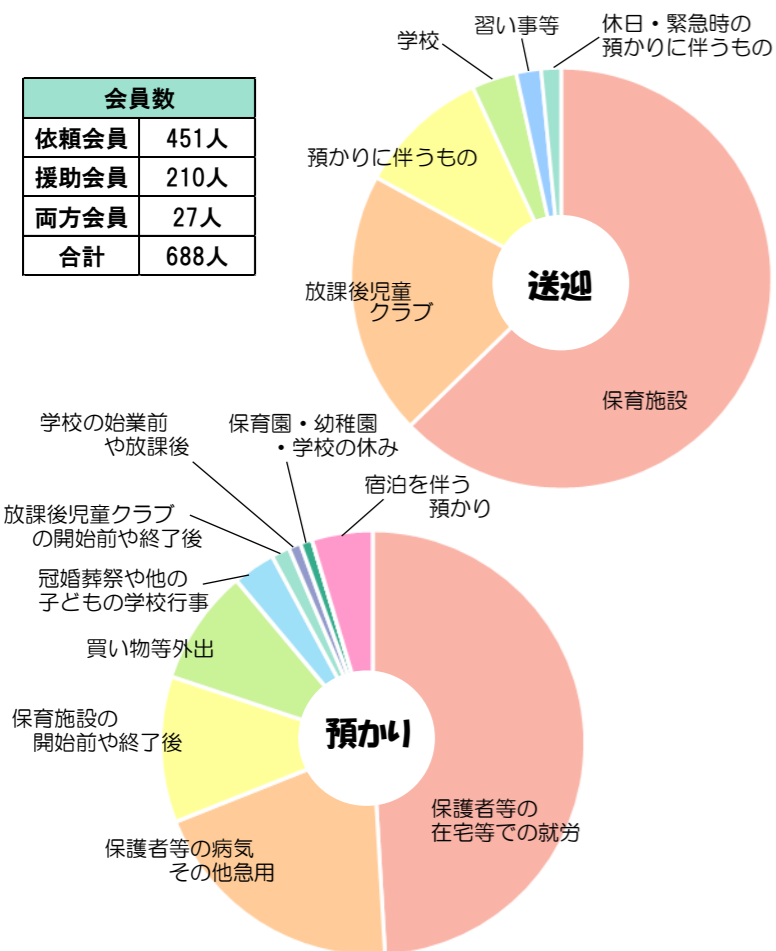
まつさかファミリーサポートセンターは(特)松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています

2023 年度活動報告

昨年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられましたが、引き続き感染予防につとめながらの対応をしています。今年度の活動件数は739件でした。前年のような毎日の依頼が減ったり、インフルエンザの流行により援助のキャンセルが続いた時期もあったため、2割近く件数が減少しました。放課後児童クラブや保育施設、習い事への送迎や預かりに伴う送迎が515件で全体の70%。保護者の就労の際や外出の際などの預かりが206件で28%、昨年度より預かり援助は6ポイント多くありました。

今年度も障がい児の援助の問い合わせや依頼が多くありました。見守りや支援の必要な子どもを育てながら、そのきょうだいも育て、保護者が仕事を続けるには困難なことが多くあるようです。多胎児やひとり親家庭、子育てと介護を必要とするダブルケア家庭も増えており、家族だけでは乗り切れない状況が見受けられます。ファミリーサポートセンターが援助できる事にも限りがあるため、関係機関と連携して切れ目のない援助の充実を目指したいと思えます。

新年度からの母の復職や新入園、新入学に対応するためと、毎年秋頃から入会が増える傾向がありますが、12月からは毎月10回以上のマッチングを行いました。年間では91回のマッチング、延べ285人の援助会員に参加していただきました。新一年生なのに学童に入れず、慌てて私立の施設を探して送迎をファミリーサポートセンターに依頼することになるような事例がありました。親が安心して仕事を続けられるように、子どもの生活が無理なく安全に送れるように、ファミリーサポートセンターもその助けの一つになっていきたいと思えます。



援助活動一覧表

活動内容	送迎先または事由	件数
送迎 515件 69.7%	保育施設	328
	放課後児童クラブ	106
	預かりに伴うもの	53
	学校	18
	習い事等	10
預かり 206件 27.9%	保護者等の在宅等での就労	106
	保護者等の病気その他急用	43
	保育施設の開始前や終了後	24
	買い物等外出	19
	冠婚葬祭や他の子どもの学校行事	7
	放課後児童クラブの開始前や終了後	3
	学校の始業前や放課後	2
	保育園・幼稚園・学校の休み	2
	妊娠・出産	0
	保護者等の就職活動	0
休日・緊急時 18件 2.5%	宿泊を伴う預かり	10
	休日・緊急時の預かりに伴う送迎	8
	緊急時の預かり	0
	病児・病後児の預かり	0
合計		739
キャンセル回数		175

きりんのつぶやき

- 新学期が始まり、ファミリーサポートセンターでも新規の援助が始まりました。子どもも援助会員さんも、そして預ける依頼会員さんも緊張しながらのスタートです。慣れた援助会員1人ずつとお願いしたいという声もたまに聞かれますが、ファミリーサポートセンターでは子ども1人につき、概ね3人の援助会員とマッチングをしています。これは依頼が不成立にならないためだけではなく、子どもにたくさんの大人と関わってほしいという思いがあるからです。多様な価値観に触れる機会があることで、子どもも援助会員も気づき学び合えると考えています。
- 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが相変わらず流行っています。会員の皆様には引き続きご留意いただきますようお願いいたします。
- マッチングの際、連絡先等の個人情報をお渡ししています。お取り扱いには十分注意し、退会時に返却するまで大切に保管いただきますようお願いいたします。



2023 年度 援助会員養成講座

第1回目

6/20(火)・6/25(日)・6/28(水)
7/6(木)・7/3(木)
参加者：新規15名・再受講13名

第2回目

1/26(金)・2/1(木)・2/4(日)
2/7(水)・2/15(木)
参加者：新規14名・再受講13名

今年度の援助会員養成講座は、連日沢山の方が受講され、5名の方が援助会員として登録となりました。男性の参加も3名あり、子育て中のお母さんや、子育て支援を通して社会に貢献したいという方など、幅広い年代の方が受講されました。

講義では「子育て中に知れたかった」「自分自身の子育てを反省した」「松阪市に様々な支援があることを初めて知った」という声を頂きました。座学だけでなく、AEDを実際使用しての心肺蘇生法や、チャイルドビジョン(幼児視界体験メガネ)を使って階段の昇り降りをし、子どもの視界を体験したり、ビニール手袋を着用しながら折り紙を折って、AD/HD(注意欠陥多動性障害)の子ども気持ちを知るなど、体感型の学習もありました。

子どもの気持ちに寄り添える、子ども主体の支援を目指し、今回学んだ事を生かして地域の子育てと一緒に関わっていききたいと思えます。

絵本の紹介コーナー

「はずかしかったら やってみて！」

ぶん・え
オーレリー・シアン
・ショウ・シーヌ
やく
垣内磯子



新年度になり、たくさんの初めましてを経験してきましたと思えます。

そんな時に「はずかしい」という気分も少しありませんでしたか？

この絵本の中のユニコーン「ガストン」はいろんな気分になるけれど、ガストンのたてがみはその時の気分によって色が変わります。何もかもうまくいっている時は、にじいろのたてがみになります。今日の気分は、はずかしい気持ちです。でもはずかしいばかりでは楽しくないから、はずかしい気持ちをやっつけたいよ。ガストンはどんな風に気持ちをととのえたのかな？はずかしい気持ちの時は、ガストンと一緒にやってみてくださいね。

ステップアップ講座

11/26
(日)
10:00~
12:00

「預かり援助実習」と「ファミサポ利用体験」

会場：花岡地区市民センター
講師：子育て支援アドバイザー 堀川美子さん

参加者
援助会員 7名
会員子ども 4名

今年度は新しく援助会員になった方や、しばらく活動をしていない方を対象として、実際に3歳以下のお子さんを預かり、援助実習をおこないました。お子さんを預けた依頼会員にとっては、援助活動を体験する機会となりました。

子どもへの声のかけ方や、泣いている子がいたら、その子の目線の先を見ると興味を示しているものがあるなど、子どもの視点に合わせて援助をしていくことの大切さに気づくことができました。

また、堀川さんには絵本を読んでもらったり、わらべうたやスカーフ遊びなどをしていただき、他の遊びをしていた子どもたちも始めるとすぐに興味を持ち、楽しむ姿が見られました。

参加をされた方からは「子どもは大人の気持ちを察して行動をするということに、気をつけながら、子どもの気持ちに寄り添いたい」「ハンカチ一枚で泣いている子どもの気持ちをなごませられることに気づいた」等の声が聞かれました。今後もこのような援助活動に活かしていける機会を作りたいと思えます。

12/12
(火)
10:00~
12:00

交流会

「親子 de YOGA」

会場：松阪市社会福祉協議会 松阪支所
講師：小倉杉絵さん
ヨガ指導師・YOGA SCHOOL Kuan Yin 代表

参加者
会員親子 6組
一般親子 12組

昨年度好評だった『親子 de YOGA』を、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、今回は冬ということで、室内で開催しました。参加者は0歳児、1歳児の親子が多く、お母さんとふれあいながら、一緒にポーズをとっている姿がとても可愛かったです。

ヨガの後のおしゃべりタイムでは、いろいろな年齢の子どもたちと交流できるように、3グループに分かれて話し合い、育児の相談など、お子さんの話に花が咲いていました。託児スタッフを援助会員が担当し、楽しそうに遊んでいるお子さんの姿がたくさん見られました。

今後もみなさんが交流できるこのような場を設けていきたいと思えます。